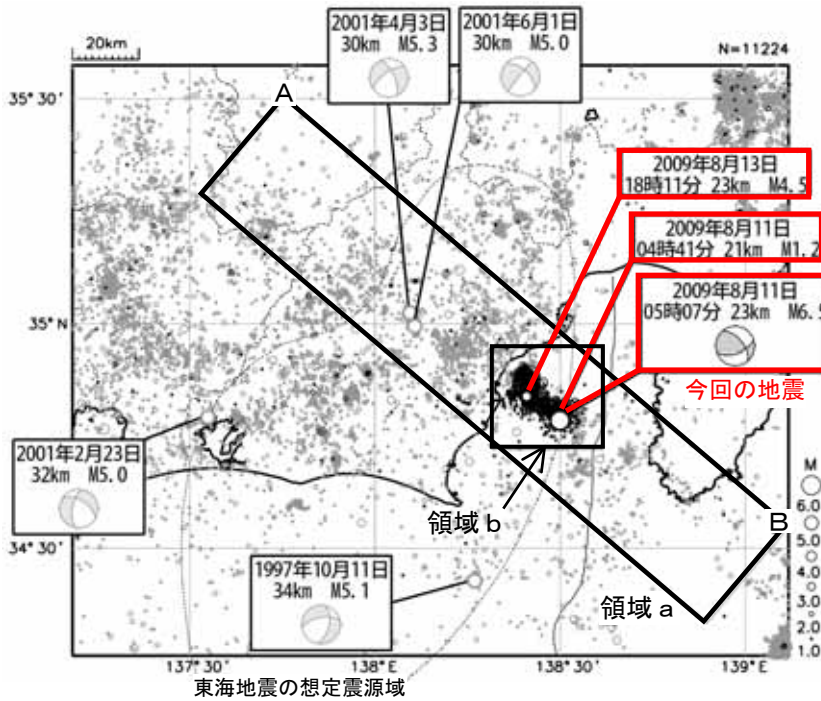


8月11日 駿河湾の地震(M6.5)とその余震活動

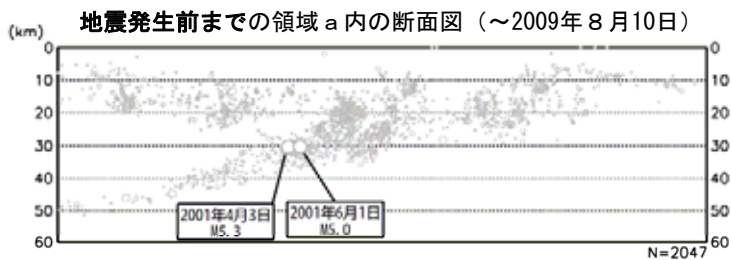
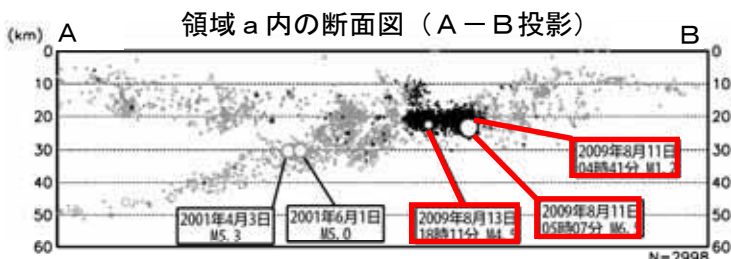
余震は次第に減少

震央分布図 (1997年10月1日～2009年10月21日、
深さ60km以浅、 $M \geq 1.0$)
2009年8月11日以降の地震を濃く表示

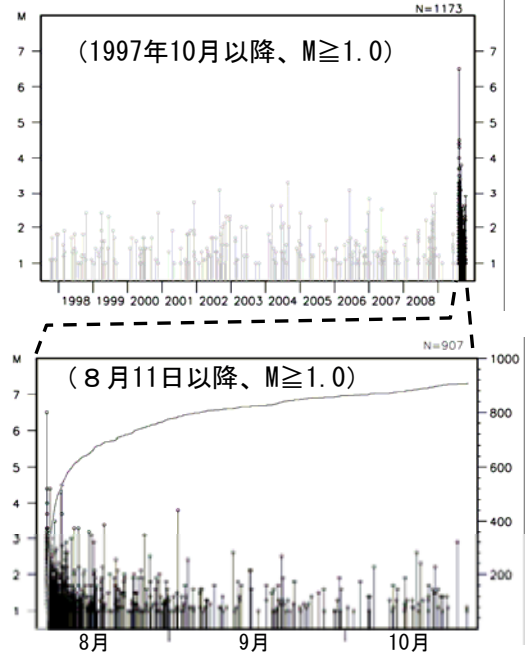


2009年8月11日05時07分に駿河湾の深さ23kmでM6.5の地震(最大震度6弱)が発生した。この地震により死者1名、負傷者319名などの被害が生じている(9月15日現在、総務省消防庁による)。発震機構は圧力軸が北北東-南南西方向の、横ずれ成分を持つ逆断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。余震は次第に減少している(これまでの最大は8月13日18時11分のM4.5の地震(最大震度3))。

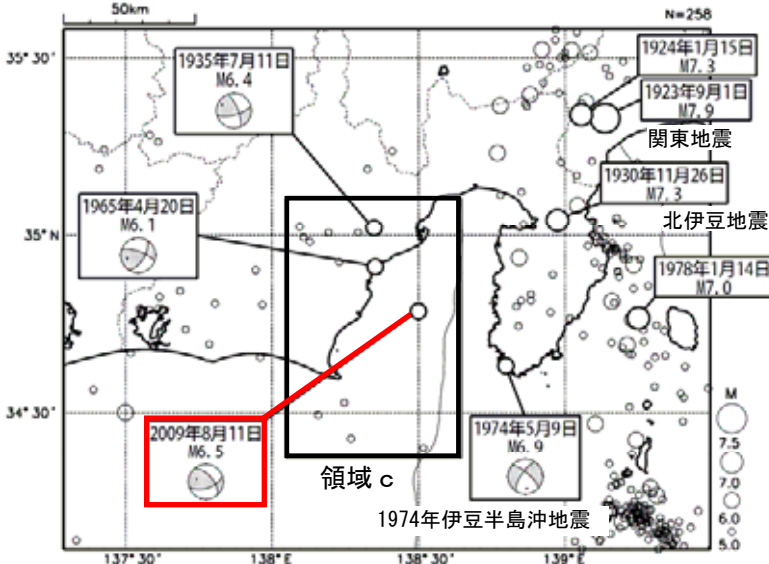
なお、1997年10月以降、今回の震源付近(領域b)の地震活動は時々M2～3の地震が発生する程度で、周辺の地震活動に比べて比較的低調であった。



領域b内の地震活動経過図、回数積算図

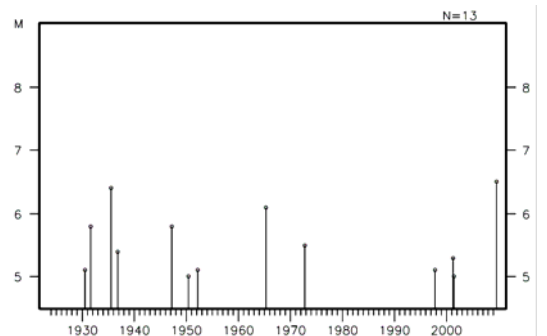


震央分布図 (1923年8月以降、深さ60km以浅、 $M \geq 5.0$)



1923年8月以降、今回の震央周辺(領域c)では、1935年にM6.4の地震(静岡地震)、1965年にM6.1の地震が発生している。

領域c内の地震活動経過図



※1935年、1965年、1974年の地震については、震源を再精査した。